

NPOや行政、企業が ひとつになれば 未来は拓ける。

● NPO法人 徳島共生塾一步会 理事長 新開 善一さん



行政や地域を巻き込む 清掃ボランティアとして

阿波踊りやお花見のイベント会場、県南の海岸など、県内各地で20年近くにわたって「ごみゼロ作戦」を展開してきた『NPO法人 徳島共生塾一步会』。平成16年から開始した遍路道の清掃活動は、地域住民や行政を

巻き込んだ画期的な取り組みとして全国的に注目されました。

「ふるさとの遍路道に、たくさんのごみが落ちていくという声が届いたのがきっかけでした。地域住民や自治体、事業者などに参加を呼びかけ、1年に1カ所ずつ集中して美化活動を行いました」

約10年にわたる遍路道の清掃活動への参加者数は延べ4千人。回収したゴミは約7百トンにも及んだと言います。

「長年にわたって活動する中で重要だと感じているのが、行政や他団体との連携です。いろんなイベントや活動に参加しな

がら、お互いの結びつきを深めておくことで、いざという時に大きな力になるのです」と新開さんは話します。

四国の遍路道を 世界遺産に

人や地域を巻き込みながら続けてきた清掃活動は「四国八十八カ所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向けた取り組みへ



● 住民や団体の連携で清掃活動を実施。

と発展。まずは県民に遍路文化の素晴らしさを再認識してもらうため、遍路道でのウォーキングイベントやシンポジウムなどを開催しています。

「汗だくになって活動を続けてきた仲間との縁を、新たな取り組みへと生かすことができました。四国にしかないお接待文化を、世界中の方々に知っていただけたら」

その豊富な実績と経験を生かし、今ではNPO設立を目指す人々のサポート役としても活躍する一步会。他団体と新たな連携や協働を築きながら、一つの型にはまらない活動を続けています。

「みんなで力を合わせて一歩一歩進めば、道は開ける。私たちの活動に興味がある方は、気軽に参加してください」と新開さんは笑顔で話してくれました。